

地方創生拠点整備交付金事業(令和元年度分) 効果検証シート

◆ 事業について

事業名	6次産業化拠点施設整備事業
-----	---------------

事業始期	事業終期	交付対象事業費	交付金充当額
平成29年3月	令和3年3月	89,382,843	44,691,420

事業概要

市の基幹産業であり、魅力ある緑豊かな自然環境を担う農業(1次産業)を優先支援することで、それにつながる2次・3次産業にも裾野を広げ、地域全体に効果を波及させるため、道の駅みのりの郷東金に6次産業化の推進と交流の促進を図るための加工施設を整備するとともに、地域観光のプラットフォームとして総合案内窓口を設置し、地域資源を活用した特産品の創出やワンストップによる地域内への回遊の仕組みづくりを行なうことで、地域の魅力を発信して、交流人口の拡大や農業をはじめとする地域産業の活性化を推進する。

◆ 重要業績評価指標(KPI)

① 東金市を訪れる観光客(交流人口)の増加(単位:千人)

基準時		H29(2017)	H30(2018)	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)
879	目標	1,220	1,310	1,420	1,530	1,650
	実績	1,336	1,325	1,330		

② 東金市を訪れた観光客の消費総額(単位:百万円)

基準時		H29(2017)	H30(2018)	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)
6,491	目標	9,009	9,674	10,486	11,298	12,184
	実績	9,146	9,071	9,015		

③ みのりの郷東金(直売所)における売上高(単位:百万円)

基準時		H29(2017)	H30(2018)	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)
505	目標	605	605	623	642	662
	実績	587	596	576		

◆ 検証結果

内部評価

①	地方創生に非常に効果的であった	
②	地方創生に相当程度効果があった	
③	地方創生に効果があった	○ 3つの指標全ての実績値が目標を下回っており、また、令和元年度末にかけて新型コロナウイルス感染症による影響もあり、実績値が前年を下回る結果となるものもあったが、基準値と比べた実績値は、3つの指標全てが基準値を上回る結果となったことから、事業開始前よりも取組みが前進したとみなせるものと評価した。
④	地方創生に対して効果がなかった	
⑤	効果の有無はまだわからない	

外部評価

①	地方創生に非常に効果的であった	例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例: KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例: 整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合